

もんだい；つぎの―をつけたかんじのよみかたをかきなさい。

- 1 片手をあげて、合図をする。
- 2 魚の骨を犬にやる。
- 3 危うく船はしずむところであつた。
- 4 研究班が、ペンギンの生態を調査する。
- 5 三角形の頂点から底辺に垂線をおろす。
- 6 一九一七年、ロシア大革命が起こつた。
- 7 疑問の文と仮定の文を区別する。
- 8 ガは、輪をかいて産卵を始めた。
- 9 臨時ニュースを聞く。
- 10 古代人は、海や山を神聖なものと考えていた。
- 11 わたしは、看護師になりたいと思う。
- 12 朝から取りかかれば、翌日には仕上がる。
- 13 実物と写真では、感じがまるで異なる。
- 14 法案は、衆・参両院を通過した。
- 15 蚕は、こん虫の一種である。

- 1 電流は、並列回路を通っている。
- 2 数々の困難にうちかって、ついに成功した。
- 3 遊園地なら、交通事故の危険性がなくて安心だ。
- 4 おじは、がっしりした骨格の人だ。
- 5 しょうこもなしに人を疑うのはよくない。
- 6 あの店の看板は、すっきりしていてなかなかいい。
- 7 心を落ち着けて、試験に臨んだ。
- 8 オリンピックの聖火リレー。
- 9 選挙は、保守と革新の対決になった。
- 10 岩石の破片が、だんがんのようにはじき出される。
- 11 みんなの意見に異論を唱える。
- 12 にわとりが、卵をたくさん産んだ。
- 13 昔は、この地方も養蚕がさかんだった。
- 14 民衆をまどわす学説は取り消された。
- 15 山の頂に立って、大声でさけんだ。

六年漢字（かき） 1

もんだい；つぎの―をつけたことばをかんじでかきなさい。

- 1 かたてをあげて、合図をする。
- 2 魚のほねを犬にやる。
- 3 あやうく船はしずむところであった。
- 4 けんきゅうはんが、ペンギンの生態を調査する。
- 5 三角形のちようてんから底辺に垂線をおろす。
- 6 一九一七年、ロシアだいかくめいが起こった。
- 7 ぎもんの文と仮定の文を区別する。
- 8 ガは、輪をかいてさんらんを始めた。
- 9 りんじニュースを聞く。
- 10 古代人は、海や山をしんせいなものと考えていた。
- 11 わたしは、かんごしになりたいと思う。
- 12 朝から取りかかれば、よくじつには仕上がる。
- 13 実物と写真では、感じがまるでことなる。
- 14 法案は、しゅう・参両院を通過した。
- 15 かいこは、こん虫の一種である。

- 1 電流は、へいれつ回路を通っている。
- 2 数々のこんなんにうちかつて、ついに成功した。
- 3 遊園地なら、交通事故のきけんせいがなくて安心だ。
- 4 おじは、がっしりしたこつかくの人だ。
- 5 しょうこもなしに人をうたがうのはよくない。
- 6 あの店のかんばんは、すつきりしていてなかなかいい。
- 7 心を落ち着けて、試験にのぞんだ。
- 8 オリンピックのせいかりレー。
- 9 選挙は、保守とかくしんの対決になった。
- 10 岩石のはへんが、だんがんのようにはじき出される。
- 11 みんなの意見にいろんを唱える。
- 12 にわとりが、たまごをたくさん産んだ。
- 13 昔は、この地方もようさんがさかんだった。
- 14 みんしゅうをまどわす学説は取り消された。
- 15 山のいただきに立って、大声でさけんだ。